



平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月4日 東

上場会社名 株式会社クラレ 上場取引所
 コード番号 3405 URL <http://www.kuraray.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 正明
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 (氏名) 井出 章子 (TEL) 03-6701-1070
 IR・広報部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月5日 配当支払開始予定日 平成28年9月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績 (平成28年1月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	244,099	△7.1	34,641	9.6	33,681	4.7	22,376	6.9
27年12月期第2四半期	262,877	—	31,605	—	32,160	—	20,931	—

(注) 包括利益 28年12月期第2四半期△13,084百万円(—%) 27年12月期第2四半期 23,402百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	63.70	63.57
27年12月期第2四半期	59.65	59.48

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第2四半期	660,200	482,341	71.9
27年12月期	701,770	503,589	70.7

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 474,627百万円 27年12月期 496,062百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	18.00	—	22.00	40.00
28年12月期	—	20.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想 (平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	500,000	△4.2	70,000	5.9	68,000	5.4	40,000	11.9	113.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信 (添付資料) 4 ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年12月期 2 Q	354,863,603株	27年12月期	354,863,603株
② 期末自己株式数	28年12月期 2 Q	3,498,791株	27年12月期	3,658,647株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年12月期 2 Q	351,303,259株	27年12月期 2 Q	350,883,360株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2016年1月1日～2016年6月30日)における経営環境は、日本経済は個人消費の停滞に期初からの円高による企業収益の悪化なども加わり、景気回復のペースが鈍りました。世界経済は、米国は雇用面での懸念はあったものの順調に推移しました。欧州は緩やかな景気回復が続きました。期の終盤に英国が欧州連合からの離脱を選択したことを受けて為替相場や株式市場などに一時的な混乱が生じましたが、当第2四半期連結累計期間の業績には影響はありませんでした。中国経済及び新興国経済は景気減速が継続しました。

このような状況において、当社グループは「世界に存在感を示す高収益スペシャリティ化学企業」を実現すべく、2015年度よりスタートした中期経営計画「GS-STEP」において掲げた経営戦略を順次実行しています。

当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は前年同期比18,777百万円(7.1%)減の244,099百万円、営業利益は3,036百万円(9.6%)増の34,641百万円、経常利益は1,521百万円(4.7%)増の33,681百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,445百万円(6.9%)増の22,376百万円となりました。

[ビニルアセテート]

当セグメントの売上高は128,624百万円(前年同期比7.1%減)、営業利益は29,394百万円(同10.8%増)となりました。

- ① ポパール樹脂は第2四半期連結会計期間に操業を開始した米国新プラントの償却費をカバーできませんでした。光学用ポパールフィルムは液晶パネルの生産調整の影響を受け、販売量が減少しました。水溶性ポパールフィルムは堅調に推移しました。PVBフィルムは中国の需要回復などにより好調に推移しました。
- ② EVOH樹脂<エパール>は、自動車ガソリントank用途、食品包装用途ともに好調に推移しました。

[イソプレン]

当セグメントの売上高は25,953百万円(前年同期比8.8%減)、営業利益は3,990百万円(同18.2%増)となりました。

- ① イソプレン関連では、ファインケミカル、熱可塑性エラストマー<セプトン>及び液状ゴムは高付加価値品へのシフトに加え一部用途で中国需要に回復の兆しが見え好調に推移しました。
- ② 耐熱性ポリアミド樹脂<ジェネスタ>は、自動車用途が拡大を続け、コネクタ用途に回復の兆しが見えました。一方で、LED反射板用途は引き続き中国の需要が戻りませんでした。

[機能材料]

当セグメントの売上高は26,055百万円(前年同期比8.1%減)、営業利益は2,001百万円(同21.4%減)となりました。

- ① メタクリルは、市況悪化によりモノマー及び一部樹脂用途で値下げを余儀なくされました。
- ② メディカルは、歯科材料が新製品の拡充に加え、販売面で事業統合によるシナジー効果が増大し順調に推移しました。
- ③ 人工皮革<クラリーノ>は、既存プロセス品ならびに新プロセス品ともに堅調に推移しました。

[繊維]

当セグメントは好調なビニロンに加え生活資材も堅調に推移した結果、売上高は23,864百万円(前年同期比0.5%増)、営業利益は2,994百万円(同41.2%増)となりました。

[トレーディング]

化学品関連事業は中国需要の減速影響を、繊維関連事業は一部用途で低調な国内需要の影響を受けました。この結果、売上高は59,097百万円(前年同期比1.8%減)、営業利益は1,895百万円(同4.6%減)となりました。

[その他]

その他事業は、第1四半期連結会計期間にエネルギー材料事業が加わったことにより開発費が増加しました。この結果、売上高は30,860百万円(前年同期比8.1%減)、営業利益は938百万円(同26.7%減)となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の売上高予想について、為替の円高進行の影響を考慮し、以下のとおり修正することとします。

2016年12月期(2016年1月1日～2016年12月31日) 通期連結累計期間業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2016年2月9日)	540,000	70,000	68,000	40,000	113 89
今回修正予想(B)	500,000	70,000	68,000	40,000	113 84
増減額(B-A)	△40,000	—	—	—	
増減率(%)	△7.4	—	—	—	

第3四半期以降の平均為替は米ドル105円、ユーロ115円、国産ナフサ価格33千円/KLを前提としています。

<ご参考>2016年12月期(2016年1月1日～2016年12月31日) セグメント別業績予想

(単位:億円、単位未満四捨五入)

	売上高		営業利益	
	第2四半期 実績	通期	第2四半期 実績	通期
ビニルアセテート	1,286	2,600	294	610
イソプレン	260	520	40	75
機能材料	261	540	20	45
繊維	239	480	30	50
トレーディング	591	1,210	19	40
その他	309	660	9	20
消去又は全社	△504	△1,010	△66	△140
合計	2,441	5,000	346	700

注:上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なることがあります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

1. 企業結合に関する会計基準等の適用

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2013年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 2013年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 2013年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差
額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変
更しました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確
定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映さ
せる方法に変更します。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の
変更を行っています。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度につい
ては、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っています。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子
会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に
記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得
又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記
載する方法に変更しています。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及
び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首
時点から将来にわたって適用しています。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

2. 税制改正に係る減価償却方法の変更

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応
報告第32号 2016年6月17日)を当第2四半期連結会計期間に適用し、2016年4月1日以後に取得した構築物に
係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しています。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与
える影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2016年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,996	37,126
受取手形及び売掛金	102,079	99,048
有価証券	18,805	23,000
商品及び製品	77,582	71,404
仕掛品	11,293	11,380
原材料及び貯蔵品	23,310	22,926
繰延税金資産	7,598	6,753
その他	19,430	15,234
貸倒引当金	△611	△449
流動資産合計	296,486	286,425
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	53,959	52,957
機械装置及び運搬具(純額)	127,962	145,603
土地	18,508	18,286
建設仮勘定	56,609	28,253
その他(純額)	4,978	4,763
有形固定資産合計	262,019	249,863
無形固定資産		
のれん	28,564	24,519
顧客関係資産	32,244	26,568
その他	23,167	21,120
無形固定資産合計	83,976	72,208
投資その他の資産		
投資有価証券	46,057	37,803
長期貸付金	239	305
退職給付に係る資産	791	939
繰延税金資産	6,361	7,011
その他	5,887	5,687
貸倒引当金	△50	△44
投資その他の資産合計	59,287	51,702
固定資産合計	405,284	373,774
資産合計	701,770	660,200

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2016年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,331	31,455
短期借入金	7,187	8,014
未払費用	10,468	9,349
未払法人税等	14,692	10,541
賞与引当金	5,259	4,488
その他の引当金	31	8
その他	19,480	16,243
流動負債合計	95,450	80,101
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	42,257	42,209
繰延税金負債	24,102	21,017
役員退職慰労引当金	185	192
環境対策引当金	353	351
退職給付に係る負債	11,247	10,266
資産除去債務	3,615	3,252
その他	10,966	10,467
固定負債合計	102,729	97,757
負債合計	198,180	177,859
純資産の部		
株主資本		
資本金	88,955	88,955
資本剰余金	87,147	87,158
利益剰余金	278,899	293,281
自己株式	△4,319	△4,131
株主資本合計	450,682	465,264
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,808	7,191
繰延ヘッジ損益	△4	40
為替換算調整勘定	39,377	6,459
退職給付に係る調整累計額	△4,801	△4,328
その他の包括利益累計額合計	45,380	9,363
新株予約権	831	755
非支配株主持分	6,695	6,957
純資産合計	503,589	482,341
負債純資産合計	701,770	660,200

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)
売上高	262,877	244,099
売上原価	181,544	159,919
売上総利益	81,333	84,180
販売費及び一般管理費		
販売費	13,491	13,342
一般管理費	36,237	36,196
販売費及び一般管理費合計	49,728	49,538
営業利益	31,605	34,641
営業外収益		
受取利息	129	111
受取配当金	2,347	1,983
その他	560	1,027
営業外収益合計	3,037	3,122
営業外費用		
支払利息	357	358
その他	2,125	3,723
営業外費用合計	2,482	4,082
経常利益	32,160	33,681
特別利益		
固定資産売却益	278	—
特別利益合計	278	—
特別損失		
投資有価証券評価損	195	—
固定資産廃棄損	154	—
特別損失合計	349	—
税金等調整前四半期純利益	32,088	33,681
法人税、住民税及び事業税	10,848	10,035
法人税等調整額	△36	814
法人税等合計	10,811	10,849
四半期純利益	21,277	22,832
非支配株主に帰属する四半期純利益	345	455
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,931	22,376

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)
四半期純利益	21,277	22,832
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,466	△3,617
繰延ヘッジ損益	△57	44
為替換算調整勘定	△1,449	△32,815
退職給付に係る調整額	165	473
その他の包括利益合計	2,125	△35,916
四半期包括利益	23,402	△13,084
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,056	△13,538
非支配株主に係る四半期包括利益	346	454

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	32,088	33,681
減価償却費	21,636	20,042
為替差損益(△は益)	285	2,654
投資有価証券評価損益(△は益)	195	—
固定資産廃棄損	154	—
固定資産売却損益(△は益)	△278	—
売上債権の増減額(△は増加)	△748	△2,308
たな卸資産の増減額(△は増加)	△213	△1,992
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,324	△5,627
その他	△1,182	2,649
小計	43,613	49,100
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	980	△10,991
その他	2,137	1,740
営業活動によるキャッシュ・フロー	46,731	39,848
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△193	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△21,232	△24,402
投資有価証券の取得による支出	△1,985	△907
投資有価証券の売却及び償還による収入	4,234	3
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△5,564	—
事業譲渡による収入	1,134	—
事業買収に伴う支出	△120	—
その他	△1,762	△81
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,489	△25,387
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△4,950	937
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	△10,000	—
長期借入金の返済による支出	△69	△66
配当金の支払額	△3,155	△7,726
その他	232	△297
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,943	△7,153
現金及び現金同等物に係る換算差額	△285	△3,207
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,013	4,100
現金及び現金同等物の期首残高	35,388	54,750
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	231
現金及び現金同等物の四半期末残高	38,401	59,082

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第2四半期連結累計期間(自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ビニルア セテート	イソプ レン	機能材料	繊維	トレーデ ィング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	123,083	16,448	19,463	18,213	59,094	236,304	26,573	262,877	—	262,877
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	15,325	12,023	8,875	5,537	1,112	42,874	7,000	49,874	△49,874	—
計	138,408	28,472	28,339	23,751	60,207	279,178	33,573	312,752	△49,874	262,877
セグメント利益	26,535	3,375	2,547	2,121	1,987	36,568	1,279	37,848	△6,243	31,605

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、活性炭事業、アクア事業、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△6,243百万円には、セグメント間取引消去554百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△6,797百万円を含んでいます。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費、本社管理部門費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

II. 当第2四半期連結累計期間(自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ビニルア セテート	イソプ レン	機能材料	繊維	トレーデ ィング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	113,988	14,001	17,309	18,309	57,667	221,276	22,823	244,099	—	244,099
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	14,636	11,951	8,746	5,555	1,430	42,320	8,037	50,357	△50,357	—
計	128,624	25,953	26,055	23,864	59,097	263,597	30,860	294,457	△50,357	244,099
セグメント利益	29,394	3,990	2,001	2,994	1,895	40,276	938	41,215	△6,573	34,641

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、活性炭事業、アクア事業、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△6,573百万円には、セグメント間取引消去707百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△7,280百万円を含んでいます。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費、本社管理部門費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。